

デュアルシステム 説明資料

大阪府立布施工科高等学校

デュアルシステム概要

②概要

デュアルシステム（「企業」と「工科高校」との連携による大阪の産業を担う人材の育成）⇒企業留学

デュアルシステムとは

実践的な技術・技能を学ぶために、学校での教育と同時に生産現場等で学ぶ機会を設けるシステム



目的

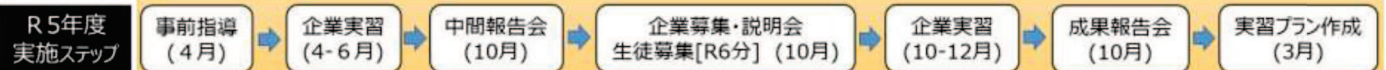
- ・工科高校生が地域の生産現場で知識・技術を学ぶ機会を設定 → 地元のものづくり企業への理解を深め、興味を持たせる
- ・工科高校で身に付けた知識・技術を生産現場で実践 → 学校で学んだ基礎を生産現場で体感することで応用力の向上をめざす
- ・企業技術者による装置操作・工程管理の作業指示 → 生産現場で柔軟に対応できる、早期に実践力のある人材を育てる
- ・長期にわたる企業実習での労働体験および従業員との協働 → 労働の厳しさ・喜びを感じることで、望ましい勤労観・職業観を育成する

布施工科デュアルシステム 実施概要（案）

- 年間24回程度。1クール12回で前期（4～7月）後期（10～1月）で実施。
- 生徒2人1組を原則とし、週1回（1日）企業実習を実施。
- 学校は、企業実習前に、企業が必要とする準備（安全教育・基礎的な技術指導等）を実施。
- 協力企業と相談しながら実習目標を考え、実習プランを作成。
- 企業実習日には、担当教員が企業訪問し、生徒の状況把握・企業との連絡調整を実施。

実施主体	実施校	対象学年	開始時期
学校・大阪府教育庁	布施工科高校 (東大阪市)	3年生 (機械系、電気系、建築設備系)	R6年度本格実施 (R3年度から協力企業による試行をスタート)

スケジュール	年度	R3年度実施結果	R4年度	R5年度	R6年度
実施内容		試行実施① 参加生徒：16名（2・3年生） 協力企業：7社 期間：午後5日連続（計5回） 実施時期：12月	試行実施② 参加生徒：27名（3年生） 協力企業：11社 期間：毎週午後（計6回） 実施時期：1学期	試行実施③ 参加生徒：40名程度（3年生） 協力企業：20社程度 期間：毎週午後（計15回程度） 実施時期：1・2学期	本格実施 参加生徒：72名程度（3年生） 協力企業：36社程度 期間：毎週終日（計15回程度） 実施時期：1・2学期

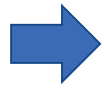


布施工科高校の学び

- ★ 布施工は**就職**に強い学校
- ★ **大手企業**（大卒でも難関）や**地元の優良企業**に**就職**
- ★ 高校生のうちに**働く力**と**自信**を身に付ける
- ★ **自分の力**を発揮できる**仕事**を見つける



“働く”を学ぶ
布施工科



企業留学 R6スタート！
（デュアルシステム）

- ・ 令和6年度の3年生が参加！
（令和4年度入学生です）
- ・ 希望者限定72名
- ・ 1企業につき2名程度で実習



Go !



デュアルシステムとは



◆目的

- ・ **学校での学び**と**企業での学び**により生徒の成長を加速させる
- ・ 学校で身につけた**技術力・人間性を、現場で活用する体験**を通し、**応用力・思考力・社会人基礎力の向上**を図る
- ・ 早期に社会で活躍できる**若手人材の育成**を産官学連携で推進

【実施の経緯】

- ・ デュアルシステムという、実践的な技術・技能を学ぶために、学校での教育と同時に生産現場等で学ぶ機会を設けるシステムを構築
- ・ R4年度の入学生に対して、**工科改編の特色**として、デュアルシステムを計画
- ・ **R6年度にデュアルシステムを実施し3年生が参加**するようカリキュラムを決定
- ・ R6年度に向け**試行実施**を行い、制度設計（企業様にご協力のご依頼）
- ・ 大阪府教育庁の協力も受けて計画を推進



R6年度 本格実施、R5年度 試行実施への、企業様のご協力をお願いいたします

R5デュアルシステム試行について

◆R6年度の本格実施をめざしたR5年度の**試行**

R6デュアルシステム（本格実施）

- ・ 実施日 → 毎週**1日**（選択科目3時間＋課題研究3時間）
- ・ 実施時間帯 → **丸1日**の実習
- ・ 期間 → 1年間（前期：4月～6月 後期：10月～12月）
- ・ 1社の人数 → 2名を原則とします
- ・ 企業数 → **36社**（実施規模は検討中）
- ・ 生徒数 → **72人** 限定（実施規模は検討中）
- ・ 実習以外の日 → 班で報告会の準備（日程の中で企業実習不可の日など）

R5デュアルシステム（**試行実施**）

- ・ 実施日 → 毎週**半日**（課題研究3時間）
- ・ 実施時間帯 → 木曜日の4～6 限予定（**午後13:00～16:00**）
- ・ 期間 → 1年間（前期：4月～6月 後期：10月～12月）
- ・ 1社の人数 → 2名を原則とします
- ・ 企業数 → **15～20社**
- ・ 生徒数 → **30～40人程度** 限定
- ・ 実習以外の日 → 班で報告会の準備（日程の中で企業実習不可の日など）

<p>◆日程 【前期】</p> <p>4/ 事前説明会 4/20 事前指導 安全教育 4/27 企業実習前期① 5/11 企業実習前期② 5/18 企業実習前期③ 5/25 定期考査 6/ 1 企業実習前期④ 6/ 8 企業実習前期⑤ 6/15 企業実習前期⑥ 6/22 企業実習前期⑦ 10/5 中間報告会 (校内のみで実施)</p>	<p>【後期】</p> <p>10/19 企業実習後期① 10/26 企業実習後期② 11/ 2 企業実習後期③ 11/ 9 企業実習後期④ 11/16 企業実習後期⑤ 11/30 定期考査 12/21 企業実習後期⑥ 2/ 3 成果報告会 成果報告会は来校いただき参加願います 年間実施予定(案)につき 学校行事により変動あり</p>	<p>◆準備していただくこと</p> <p>①受入れの検討 ②連絡担当者の決定 ③実習担当者の決定 ④実施可能日程の確認 ⑤受入れ書の作成 ⑥実習プランの作成 ⑦生徒の荷物置き場設定 (ロッカーなど) ⑧借用可能な物品の準備 (ヘルメットなど) ⑨生徒持参品の決定 (実習服・安全靴など)</p>
--	---	--

◆企業の担当教員について
担当教員 1 人が
6 人の生徒を担当
(3 社を担当)

Z社 生徒 2人	} 教員A
Y社 生徒 2人	
X社 生徒 2人	

W社 生徒 2人	} 教員B
V社 生徒 2人	
U社 生徒 2人	

R5実習・R6実習について

R5試行実施の際の実習日の流れの例

活動	詳細
11:40 4限目開始	昼食・出発準備
12:45 出社	着替え等の準備
13:00 実習開始	(13:00に限定ではありません)
14:30 休憩	休憩は適宜
16:00 実習終了	報告書の作成←担当者様にて確認願います
16:30 退勤	自宅へ(学校に行く必要はありません)

毎週木曜日に実施

このような観点で実習の内容を想定・検討をお願いします
マニュアルP.11参照

- ★現場での実際の仕事の体験(可能な範囲で)
- ★前期:企業の魅力・仕事のやりがい・技術力・先輩とのディスカッションなどを中心に
- ★後期:実際の業務・社会の厳しさ・勤労観・責任感などを中心に

R6の実習の流れ

自宅から出社 → 丸1日の実習 → 退勤(帰宅)
実習日は学校へは行かず、企業へ直行・直帰

R5・R6ともに協力企業様を募集しております。ぜひ、ご参画ください。

管理技術の学習について

R6年度に実施する3年生は、2年生で「**管理技術**」という学習をしており、デュアルシステム実習の中でも活用を図りたいと考えています。

座学＋演習の形式で、体験しながら身につける授業を実施

- 工程や作業の能率を高める

I E (Industrial Engineering) 生産工学

作業のムダを見える化する技術



- 製品や仕事の品質を高める

Q C (Quality Control) 品質管理

品質のバラツキを見える化する技術



- 製品や仕事の価値を高める

V E (Value Engineering) 価値工学

仕事の目的と手段を見える化する技術



その他

③ マニュアル

◆ マニュアルのその他の内容について

- P. 5 その他、ご留意いただく事項
問題発生時の対応や保険対応について記載
- P. 7 FAQ
前期・後期とも原則同一企業での実施ですが、
同業他社への内定者については後期実習への配慮を検討
- P. 10 受入書
- P. 11 実習プラン例
実習の内容として含んでいただきたい観点について記載
- P. 12 日程例
毎回の実習の内容の詳細の表の例

※受入書・実習プラン・日程の様式は受け入れいただく際に別途送付いたします。

今後の日程

◆R5年度の試行実施に向けての日程

3月 8日(水) デュアルシステムに関する質問会(リモート) 13:30より
★メール本文に案内を記載

3月10日(金) デュアルシステム受け入れについての連絡フォームの回答 締切
★メール本文に案内を記載
①受け入れ可能
②受け入れ不可
③受け入れに向けて要相談
④その他(自由記述)
という選択肢にて回答をお願いします。

3月15日(水) 以降順次 受け入れに向けた調整のご連絡・実習プランの相談
→参加希望の生徒の調整をし、実施いただくかどうかの
お返事を差しあげます。

※R6年度の本格実施に向けては随時ご連絡をいたします。

R6年度 本格実施、R5年度 試行実施への、ご協力を何卒お願い申し上げます

